

平成 20 年度宮前区区民会議企画部会(第 4 回)

平成 21 年 1 月 27 日(火) 18 時～20 時

宮前区役所 4 階第 2 会議室

次 第

1 開 会

2 議 事

(1) 第 1 期宮前区区民会議からの提案に対する取組状況について

(2) 各部会の審議状況について

ア 公園・地域づくり部会

イ 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会

(3) 第 4 回宮前区区民会議の議事について

(4) 区民会議フォーラムについて

(5) 中間報告について

4 その他

配布資料

資料 1 第 1 期宮前区区民会議からの提案に対する取組状況

資料 2 宮前区区民会議 公園・地域づくり部会 検討経過

資料 3 宮前区区民会議 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会 検討経過

資料 4 平成 20 年度第 4 回宮前区区民会議 次第(案)

資料 5 平成 20 年度宮前区区民会議フォーラム開催概要(案)

資料 6 第 2 期宮前区区民会議中間報告書 構成案

資料 7 第 2 期宮前区区民会議 今後のスケジュール(案)

第 2 期宮前区区民会議委員

	部会			氏名	選出区分	分野	団体名等
	企画	公園	宝				
1				ながの まさる 永野 勝	団体推薦	防災・地域交通	宮前区安全・安心まちづくり推進協議会
2				たなべ やすあき 田邊 保昭	団体推薦	福祉・健康	宮前区社会福祉協議会
3				よしだ こうたろう 吉田 亨太郎	団体推薦		宮前区老人クラブ連合会
4				くぼ ひろこ 久保 浩子	団体推薦	子育て・教育	宮前区こども支援関係者連絡会
5				かわにし かずこ 川西 和子	団体推薦		宮前区地域教育会議
6				かわい あきこ 河井 明子	団体推薦	自然・生活環境	グリーンフォーラム 21 世話人会
7				かわしま よししげ 川島 芳茂	団体推薦	産業・まちの活力	宮前商店街連合会
8				すずき かずこ 鈴木 和子	団体推薦	文化・観光	宮前区観光協会
9				よしおか きよし 吉岡 清	団体推薦	地域組織・ まちづくり	宮前区全町内会・自治会連合会(向丘地区)
10				ふくもと たかし 福本 尚	団体推薦		宮前区全町内会・自治会連合会(宮前地区)
11				まつい りゅういち 松井 隆一	団体推薦	地域特性	宮前区まちづくり協議会
12				さとう としえ 佐藤 利枝	公 募		
13				つねかわ やすお 恒川 康夫	公 募		
14				うがじん やすし 宇賀神 泰志	区長推薦		第 1 期区民会議 明日のコミュニティ部会長 (宮前区自主防災連絡協議会)
15				すずき けいこ 鈴木 恵子	区長推薦		第 1 期区民会議 高齢者福祉部会長 (在宅介護支援ボランティアグループ すずの会)
16				たかぎ かずひろ 高木 一弘	区長推薦		飛森谷戸の自然を守る会
17				ちば まさゆき 千葉 将行	区長推薦		(株)フューチャーリンクネットワーク
18				まえだ まさこ 前田 正子	区長推薦		(財)横浜市国際交流協会
19				もくだい ゆみこ 目代 由美子	区長推薦		第 1 期区民会議 子ども部会長 (宮前区民生委員・児童委員協議会)
20				わたなべ よしお 渡辺 良雄	区長推薦		第 1 期区民会議 地域防災部会長 (宮前区全町内会・自治会連合会(向丘地区))

…… 委員長 …… 副委員長

…… 部会長 …… 部会メンバー

【参与】

市議会議員

浅野 文直	織田 勝久
飯田 満	佐々木 由美子
石川 建二	平子 瀧夫
石田 康博	矢沢 博孝
太田 公子	山田 晴彦

県議会議員

福田 紀彦	持田 文男
-------	-------

第 1 期宮前区区民会議からの提案に対する取組状況

前回区民会議（11/16）から新たに進捗等があったものについてのみ記載してあります。

高齢者福祉（18 年度提案）

提案 「ご近所サークルの形成」

私のまちのすこやか活動の平成 20 年度合同研修会が開催された。

平成 20 年度合同研修会「地域を守るネットワークづくり」(130 名参加)

日程:平成 21 年 1 月 26 日 13:30～15:30/会場:区役所大会議室/講師:野川セブン代表 鈴木恵子さん

提案 「地域ぐるみの散歩活動などの実施」

土橋第 7 公園（火曜日 8 時 30 分～9 時）と野川中耕地公園（火曜日 9 時 30 分～10 時）で新たに取組が開始され、現在、区内 28 会場で実施されている

公園体操交流会を 2 月 26 日に市民館大会議室で開催。それぞれの活動内容に関する情報交換や宮前区オリジナル体操を行う予定

提案 「高齢者の学校給食体験の実施」

8 月末から 65 歳以上の方に対して「暮らしの元気度チェック」を郵送。

8～9 月の送付件数：5,702 名/返送件数：3,019 名(52.9%)。

この中から、本人の希望と状態に応じて介護予防教室（口腔ケア、栄養改善等）に参加してもらっている（25 名）。

提案 「団塊の世代による高齢者福祉のサポート」

1 月 25 日に宮前区役所・宮前市民館が主催する「大人の文化祭 in みやまえ」を開催

【内容】中村敦夫氏特別講演会(500 名参加)/ミニコンサート/ポスター展示・1 日体験教室

提案 「市営住宅などにおけるひとり暮らし高齢者の見守り」

ひとり暮らし等高齢者の見守り事業（対象：75 歳以上だけの世帯で介護保険サービスを受けていない人）各地区の民生委員に依頼して、9 月から生活状況などについて聞き取り調査を行っている。

12 月現在、依頼数 4,066 名に対して 3,834 名分(94.3%)の調査が終了

地域コミュニティ（19 年度提案）

提案 「小学校区単位で地域の特徴を活かしたコミュニティ促進」

商店街と連携した地域コミュニティ促進事業

蔵敷商店会との協働による「オオカミの護符」上映会の開催を検討

- ・ 時期：3 月中旬
- ・ 場所：セレサ川崎菅生支店会議室
- ・ 対象：地域の高齢者など

地域安全マップインストラクター講座を開催

- ・ 日時：1 部:平成 21 年 2 月 5 日(木)18 時～20 時、2 部:8 日(日)10 時～15 時 30 分
- ・ 場所：1 部:宮前市民館、2 部:宮前区役所
- ・ 講師：立正大学教授 小宮信夫氏

提案 「『地域のたまり場』の創出」

平成 21 年度の区課題事業「商店街と連携した地域コミュニティ促進事業」において、商店街における地域のたまり場（地域交流スペース）を鷺沼地区で実施する方向で調整中

提案 「『地域のつなぎ手』の育成」

シニア世代と地域を結びつけるための方法などを学ぶ講座を開催

- ・ 1 月 14 日(水)13:30～16:00 コーディネーターの役割
- ・ 2 月 18 日(水)13:30～16:00 シニアアドバイザー体験談&パネルディスカッション
- ・ 3 月 4 日(水)13:30～16:00 いろいろな地域活動を知る（レストラン川崎を見学）

子育て支援（18 年度提案）

提案 「町内会組織等を利用した効果的で効率的な地域子育て情報の発信」

「子育てかわら版」第 12 号を 11 月末に発行(20,000 部、内訳:町内会 6,300、関係機関 8,700、窓口 5,000)

提案 「子育て支援センターの拡充」

土曜日開所（地域子育て支援センターすがお、さぎぬま）を実施し、大人 117 名（うち父親 26 名）、子ども 117 名の参加があった（11/29 開催）。

提案 「子育て関連支援組織による協議会(ネットワーク)の立上げと運営」

宮前区子ども支援関係者連絡会

12 月 10 日に実務者会議、1 月 13 日に運営委員の会議を開催し、現在の取組や来年度に向けての課題等について意見交換を行った。

提案 「地域などへの出前講座の実施」

平成 20 年度「親と子の子育て応援セミナー」を、11 月と 12 月に各 1 回実施した。

日程	会場	内容	参加者
11 月 20 日	子育て支援センター	地域の方との懇談会	24 組 51 名
12 月 3 日	さぎぬま	講演会「地域で支え合う子育て」	25 組 51 名

以下のとおり出前講座を実施

日程	会場	内容	参加者
11 月 10 日	子育て支援センターすがお	乳幼児の睡眠と生活リズムについて	乳幼児、母親 14 名
12 月 18 日	子育て支援センターさぎぬま	事故予防について	乳幼児、母親 22 名

地域防災（19 年度提案）

提案 「(仮称)宮前区版「みんなでやろう防災対策」の作成」

まちづくり協議会と協働で編集した防災ニュース第 3 号を 21 年 3 月に発行予定

防災対策資料として、「防災ワンポイント豆知識（A3 版）」(別紙)を作成し、防災フェアで配布

防災フェアを次により開催

- ・ 日 時：平成 21 年 1 月 20 日(火)
- ・ 実施内容と参加者（延べ 729 名）：
宮前市民館：防災展示・実演/ぼうさい出前講座「地域の防災まちづくり」/宮前区の地震被害シミュレーション/市民救命士養成講座
宮前公園：初期消火体験/煙体験/起震車体験/ちびっ子消防服着用体験

提案 「防災出前講座の拡充」

12 月 1 日の保育園・幼稚園・小学校代表者連絡会に職員が出向き、防災出前講座の広報を実施

1 月 20 日の防災フェアで、防災出前講座のチラシ配布などの広報を実施

提案 「(仮称)宮前区防災推進員の育成」

宮前区防災推進員養成研修を実施（別紙参照）

- ・ 会 場：宮前区役所第 4 会議室
- ・ 参 加 者：自主防災組織から推薦を受けた方、第 1 期区民会議委員ほか 47 名
- ・ 研修内容：防災推進員の役割/過去の自然災害に学ぶ/自助と公助を考える/地域防災の啓発手法/防災入門にゲームを利用
- ・ 委 託 先：(財)市民防災研究所

区民会議 平成20年 10月までの審議状況を報告
全体会 11月16日

第6回部会 平成20年 地域の課題の具体的解決策について
12月9日

議論ペーパーに基づき、解決すべき課題を踏まえ、具体的な課題解決策について検討

■公園の魅力アピール

- ・公園内に掲示板などを設置し、イベント情報などを発信してはどうか。
- ・この部会から公園の魅力を紹介してはどうか。
- ・公園をテーマにした集いを開催することで、公園に関する情報交換、事例報告などができるとよい。

【配布資料】

- ・公園・地域づくり部会（第5回）議論のまとめ
- ・議論ペーパー
- ・公園を活用したコミュニティづくりに向けた提案

■コミュニティのきっかけづくり

- ・既存の団体が行っている活動の中には、コミュニティの視点を取り込めるものがあるので、既存の活動とコミュニティを一体化するための方法を検討する必要がある。
- ・あまり利用されていない公園にどうやったら人が興味を持って来るようになるのか、検討する必要がある。

■維持管理・運営の担い手・組織など

- ・（公園緑地管理運営協議会という制度があることを前提として）公園の維持管理だけでなく企画を行う組織の確立が必要である。
- ・公園に携わる地域の人達の情報共有・交換のために、全区的な集まりがあることが望ましい。
- ・利用者間の調整やルールは、法令の範囲内で地域の実情に応じて公園を利用する人が決めることが望ましい。
- ・「あるべき論」よりも地域にとってのメリットを念頭に置く必要がある。

第7回部会 平成21年 地域の課題の具体的解決策について
1月20日 区民会議フォーラムについて

■議論の視点について

- ・議論の視点としては、「公園の日常的な利用・イベントでの活用」と、「利用調整等を行う組織の確立」などがある。
- ・これまでは、「利用調整等を行う組織の確立」を主に議論してきたが、まず公園を使ってもらわなければ何事も進まない。
- ・このため、まず「公園の日常的な利用・イベントでの活用」を中心に議論を進めていくこととした。

【配布資料】

- ・公園・地域づくり部会（第6回）議論のまとめ
- ・議論ペーパー
- ・公園・地域づくり部会 具体的な課題解決策 検討資料
- ・子育て自主活動グループからみた現状と提案
- ・平成20年度宮前区区民会議フォーラムについて（案）

■コミュニティのきっかけづくり

- ・具体的な手法として、スタンプラリー、水遊び、体操などの提案が出された。
- ・大きなイベントだけでなく、日常的に「何か」が行われていることが、結果として公園利用の促進につながり、コーディネーターの育成や管理運営協議会への発展へとつながるのではないかと。

■区民会議フォーラムについて

- ・地域活動事例の紹介として、自主保育活動をしている「ボレボレ」に参加を依頼することに決定。
- ・分科会での意見交換の視点として次の点があげられた
 - ①公園でやりたいこと
 - ②公園デビューに必要なこと
 - ③理想の公園となるのに必要なこと

宮前区区民会議 公園・地域づくり部会 検討経過（8～10月）

区民会議
全体会

平成20年
8月6日

7月までの審議状況を報告

第3回部会

平成20年
9月12日

公園や地域コミュニティに関する現状について
理想とする公園像について

■「公園・地域に関する現状」をこれまでの議論を踏まえて整理【配布資料】

- ・別紙 議論ペーパーのとおり
- ・今後議論を進めていく中で、変更や追加がありうることを確認
- ・議論ペーパー
- ・公園の良い点・悪い点一覧表

■理想とする公園像（①望ましい施設、②維持管理のあり方、③地域での使い方 の観点から議論）

①望ましい施設

- ・トイレ、ベンチ、看板、時計、砂場などが「望ましい施設」として例示されたが、地域のニーズや実情によってその必要性が変わるため、区民会議としてその設置自体を提案することはしない

②維持管理のあり方

- ・市だけが管理するもの、公園緑地管理運営協議会も管理しているもの、公園緑地愛護会が除草清掃活動を行っているものなど様々な管理形態があり、何が理想かはさらに検討が必要

③地域での使い方

- ・各種体操や地域お祭りなど、多様な使い方がされている

➔ 「理想とする公園像」をより具体的に検討するために、次回は、参考となる公園の管理者、利用者からヒアリングを実施

第4回部会

平成20年
10月10日

公園での活動に関する取組事例について
（鷺ヶ峰公園管理運営協議会/つくし野「公園あそび応援隊」）

■鷺ヶ峰公園管理運営協議会

- ・自治会と老人会で組織。
- ・これまでの主な活動内容は、除草清掃/花壇づくり/落書き消し/餅つき大会など
- ・メンバーの固定化・高齢化が課題

【配布資料】

- ・公園・地域づくり部会（第3回）議論のまとめ
- ・議論ペーパー

■つくし野「公園あそび応援隊」（町田市）

- ・自治会としての活動ではなく、近隣住民の有志による活動。地域性もあるが、組織化せず、やりたい人・やれる人が関わっていることが継続できているポイント
- ・これまでの主な活動内容は、朝のラジオ体操/防犯パトロール/公園見守りなど
- ・防犯パトロールや公園見守りは、学校と連携して実施。保護者も活動に積極的に参加

第5回部会

平成20年
10月27日

理想とする公園像について
解決すべき課題について

議論ペーパーに基づき、理想とする公園像、解決すべき課題について検討

【配布資料】

■理想とする公園像

別紙 議論ペーパーのとおり

- ・公園・地域づくり部会（第4回）議論のまとめ
- ・議論ペーパー

■解決すべき課題

別紙 議論ペーパーのとおり

■具体的な課題解決策（イメージ）

公園利用者自身によるルールづくりの仕組みと地域での合意形成、公園内への掲示板の設置による情報発信、維持管理だけでなく企画を行う組織の確立（既存組織の刷新）、公園からのまちづくりの必要性のアピールなど

宮前区区民会議 公園・地域づくり部会 検討経過（5月～7月）

区民会議 全体会 平成20年 5月23日 高齢者や子育て支援活動における活用や世代間交流などが期待できる「地域の庭」として、公園を審議対象テーマに選定

第1回部会 平成20年 6月16日 部会名称の決定
具体的な審議テーマについて
宮前区の公園緑地の現状と課題について

■部会名称は「公園・地域づくり部会」に決定

■具体的な審議テーマ

- ・公園という場を活用した、「高齢者支援、子育て支援、多世代交流、地域コミュニティづくり」といった利活用のあり方（ソフト面）
- ・「地域特性に応じた魅力ある公園づくり」といった公園の維持管理・整備（ハード面）
- ・公園を活用しようにも現実には維持管理の水準が十分でない公園もある
- ・ハード面が十分であるからといって行きやすい・利用しやすい公園には必ずしもならない

【配布資料】

- ・部会の具体的な審議テーマについて（たたき台）
- ・川崎市緑の基本計画（抜粋）
- ・地元管理運営マニュアル
- ・宮前区の公園緑地一覧
- ・公園・緑地等位置図
- ・統計資料

両者を対立させて考えない・・・

■公園緑地の現状と課題について（西部公園事務所から説明）

- ・19年度まで維持管理の予算が減り続けており、行政として十分な維持管理ができていない状態
- ・地域の公園は地域が主体となって維持管理をしていただくのが、現在の川崎の基本方針
- 公園緑地管理運営協議会、公園緑地愛護会の活性化が必要
- ・各委員が公園に対して抱いているイメージや問題意識についてフリートーキング

第2回部会 平成20年 7月7日 第1回部会の論点整理と今後の議論の進め方について
公園や地域コミュニティ等に関する現状と課題について

■第1回部会を踏まえた議論の方向性

- ・公園整備そのものを目的とするのではなく、公園という場を活用していかに地域コミュニティを活性化させていくか、という目的のもとソフト面・ハード面を含めた解決策を検討していく

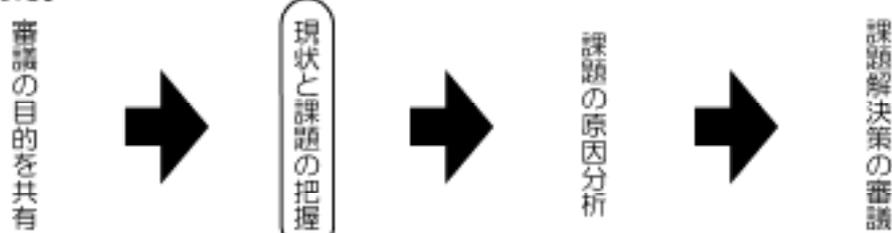
【配布資料】

- ・公園・地域づくり部会（第1回）の論点整理と今後の審議の進め方について
- ・議論ペーパー（白紙）
- ・身近な公園の良い点・悪い点一覧表

■今後の審議のスケジュール・進め方

- ・部会設置期間：第2期の期間中を通して審議を行うものとする
- ・部会案の報告時期：現段階では特に定めず、課題解決策がまとまり次第順次報告する

【進め方】



■委員による地域の公園の現状把握

- ・第1回部会と第2回部会との間に、部会委員が近所の公園の良い点・悪い点や公園で行われている地域活動などを調査（全22公園）し、その結果を報告
- 今後、この調査を元に良い点・悪い点を一般化し、理想とする公園像を導き出す
- 理想とする公園像をベースに、地域コミュニティの活性化につなげていく方を議論する

目指すべき方向性

公園を地域コミュニティの場として活用していく

- ・公園がコミュニティの拠点になることで、公園に愛着が生まれ、管理が行き届く。
- ・コミュニティの場としての公園には、コーディネーターの存在が必要不可欠だ。
- ・宮前区の公園は7区でも多い方なので、これらの公園がいきいきとした場になれば、区民の宝になる。
- ・子育てが終わった世代は公園に行かなくなりがちなので、楽しそうな企画があれば通りがかりでも参加できるのではないか

全体会での意見など

公園・地域に関する現状

◆地域コミュニティなどに関する現状と取組
(公園を絡めた解決策を視野に入れて…)

第1期区民会議では、審議課題である高齢者支援や、子育て支援、地域防災などを効果的に行うには、顔の見える関係づくり(地域コミュニティ)が重要であると確認された。

◆公園そのものに関する現状と取組

区内には190の公園緑地がある。
うち、街区公園：170 近隣公園：6 その他：14

公園緑地・街路樹に関する苦情が急増している
H12：714件→H18：1,065件

地域の公園は地域が主体となって管理するのが、市の基本方針となっている。宮前区では129箇所地域による維持管理活動等が行われている。
うち、公園緑地管理運営協議会：51
公園緑地愛護会：78

レクリエーション、憩いの場に加え、緑地、防災拠点など公園には多様な機能がある。

夏祭りや盆踊り等地域のイベント会場、ラジオ体操、健康体操の会場などとして使用されている。

一部の公園で、施設の老朽化や管理が十分でないケースが見られる。

誰でも使えるオープンスペースであるが、その利用方法は、立場や世代によって利害が対立する場合がある。

ゴミの不法投棄、犬や猫の糞など、一部に、マナーの悪い利用者がいる。

理想とする公園像

◆望ましい施設

トイレ、ベンチ、看板、時計、砂場などがあげられたが、地域のニーズや実情によって異なる

◆維持管理・運営のあり方

地域の多様な世代が、できる範囲で無理なく主体的に維持管理に関わっている

公園利用者自らが、自主的に公園の維持管理、ルールづくり、催し物の企画運営に関わることができる

◆地域での使われ方(コミュニティ面)

普段から子どもからお年寄りまで、多世代の人が自由に利用しており、顔見知りの関係ができています

地域のお祭りやイベント会場としても使用され、地域の交流が図られている

解決すべき課題

◆維持管理について

活動に関わる人が少ない。参加者の固定化・高齢化が見られる。

公園緑地管理運営協議会が存在・役割とも地域にあまり知られていない。

自主的な公園利用のルールをみんなで話し合う組織としての公園緑地管理運営協議会の役割が内部の人にもあまり知られてない。

◆公園利用について

公園の利用層に偏りがあり、特定の人しか利用しない傾向がある。

公園のコミュニティ的価値に関する情報発信が不足している。

利用者のマナーが良くない(ゴミ・たばこ・ペットなど)

具体的な課題解決策(議論中)

◆公園の魅力をアピール

公園内への掲示板の設置による情報発信

公園からのまちづくりの必要性のアピール

◆コミュニティのきっかけづくり

公園に目を向けてもらうためのイベントの実施
(例)スタンプラリー、体操、写真コンテストなど

日常的に公園を利用できる仕掛けづくり
(例)プレイリアカー、公園キャラバンなど

◆維持管理・運営の担い手・組織など

公園利用者自身によるルールづくりの仕組みと地域での合意形成

維持管理だけでなく企画を行う組織の確立

宮前区区民会議 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会 検討経過
(11月～1月)

区民会議 平成20年 10月までの審議状況を報告
全体会 11月16日

第5回部会 平成20年 地域の資源について
12月16日 具体的な課題解決策について

■宮前区の資源（宝物・顔の候補）の取り扱いについて

- ・区民会議が宝物・顔を決めるわけではなく、今後、宝物・顔を作りあげていくにあたって、区民会議として地域に提示できる「資源」に留めておくもの
- ・現在の資源は、事務局の作成したものに、部会委員の意見が反映されたものなので、もっと広く区民から募ってみる必要がある。

【配布資料】

- ・宮前区の資源（宝物・顔の候補）
- ・議論ペーパー

■具体的な課題解決策について

- ・コミュニティの活性化を目指すことを考えると、地域ごとに宝を発見するプロセスそのものが重要となる。
- ・子どもが参加できるような仕掛けがあるといい。
- ・具体的な課題解決策を検討するにあたり、地域のイベントや各種団体に宝さがしをしてもらってはどうか。

第6回部会 平成21年 具体的な課題解決策について
1月16日 区民会議フォーラムについて

■具体的な課題解決策について

- ・具体的な課題解決策を審議するためのシミュレーションとして、地域のイベントなどの機会や各種団体に宝さがしを行ってもらう。
- ・この宝さがしは、2～3月に行われるイベント（まちづくり広場ラプみやまえ(2/21)、ディスカバーウォーク(2/22)、文化講演会(2/28)、みやまえ映像コンクール(2/28)）で協力してもらったり、区民会議委員が所属する団体に依頼するなどしてできるだけ年度内に宝を出してもらうようし、区民会議フォーラムに活かす。
- ・この宝さがしでは、どのような宝が出てくるか、どのような出され方(※協力度合い)といった点も含めて検証する。

【配布資料】

- ・議論ペーパー
- ・宮前区の資源一覧(カテゴリ別・地域別)
- ・平成20年度宮前区区民会議フォーラムについて(案)

■区民会議フォーラムについて

- ・地域活動事例の紹介として、野川カルタに取り組んでいる地域に参加を依頼することに決定。
- ・分科会では、地域の宝・宮前区の顔に関する「夢」を語り合うこととし、この「夢」を踏まえて、今後の審議を深めていくこととした。

宮前区区民会議 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会 検討経過
(8月～10月)

区民会議 平成20年 7月までの審議状況を報告
全体会 8月6日

第3回部会 平成20年 宮前区の宝・顔に関する現状と取組について
9月22日 宝や顔があるまちのイメージについて

■宝物となりうる資源の分類・整理がまず必要である

現状について議論する中で、宝物となりうる資源の分類・整理の必要性について議論された

- ・大分類としては、4～5分類くらいに分けられると良い
- ・これからつくりあげていくもの、すでにあるもの
- ・ハードとソフト又は、見えるもの、見えないもの
- ・観たい価値、買いたい価値、住みたい価値

【配布資料】
・議論ペーパー

■地域の資源は怎么样了ら「宝物」や「顔」と言えるのか？

- ・宝物になるということ、顔になることの意味は少し違う
- ・宝物は秘伝・秘密の物や潜在的なものもあるが、顔は外から見ても明らかな存在
- ・より広い範囲の人々から見ても「宝物」と言えるものが「顔」である
- ・顔はいくつもあってはおかしい。顔というところを絞り込まれる
- ・宝物を顔に「押し上げていく」のではない
- ・顔には戦略が入っている

第4回部会 平成20年 課題解決策に向けた進め方について
10月24日 地域の資源について

■資源の性質別の分類

資源の性質別の分類として次の5項目を選定

- | | |
|-----------|---------------------|
| ① 自然 | 風景・緑・水・生物・植物など |
| ② 歴史文化 | 史跡・伝承・芸術・ゆかり人物など |
| ③ 暮らし・産業 | 産物・農業・工業など |
| ④ ふれあい・交流 | イベント・スポーツ・市民活動など |
| ⑤ まち・施設 | 商店街、ランドマーク、建築物、施設など |

【配布資料】

- ・宮前区の資源の整理・課題解決策の提案に向けた検討資料
- ・議論ペーパー
- ・宮前区の資源（宝物・顔の候補）

■資源を「楽しむ」という視点での分類

資源の価値を評価する指標として次の3項目を選定

- ① みたい（見・観）・ききたい（聞・聴）
- ② 買いたい・食べたい
- ③ やってみたい

■具体的な課題解決策イメージ

- ・資源を宝物に、宝物を顔に押し上げていく具体的なプロセス
- ・宝・顔に押し上げた区の資源を内外にPRするための具体的な手法

宮前区区民会議 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会 検討経過
(5月～7月)

区民会議 平成20年 文化・観光、緑、産業、まちづくりパワーなど様々な課題を包含する
全体会 5月23日 宮前区らしさ(=宮前区の顔)を審議テーマに選定

第1回部会 平成20年 部会名称の決定
6月23日 具体的な審議テーマについて

■部会名称は「宮前区の宝さがし部会～ときめき再発見～部会」に決定

・部会名称決定に先立って行われた、フリートーキングで出された「再発見」「ときめき」「宝物」「地域」などのキーワードをもとに、協議の結果「宮前区の宝さがし部会～ときめき再発見～」を部会名称として決定した。

■具体的な審議テーマについて

・各委員の考える或いは知っている宮前区の「顔」や「宝」についてフリートーキングを実施

⇒出された意見は、次の項目に分類

- ①なぜ「顔」や「宝さがし」が必要なのか？
- ②なぜ宮前区には「顔」といえるようなものがないのか？
- ③どうなれば、それが宮前区の「顔」「宝物」と言えるか？
- ④どんなものが宮前区の「顔」や「宝物」となりうるか？
- ⑤課題解決策提案の上で鍵になりそうなこと
- ⑥参考になりそうな事例や他地域の話

【配布資料】

- ・宮前区の『顔』 検討対象絞込みのためのメモ
- ・宮前区の『顔』づくりに関する委員意見・提案
- ・宮前区観光資源一覧

第2回部会 平成20年 今後の審議の進め方について
7月15日 宮前区の宝をさがす目的について
宮前区のイメージについて

■今後の審議のスケジュール・進め方

・結果的に公園・地域づくり部会と同様の進め方となった
(任期2年間を通して審議していく)

■宮前区の宝をさがす目的

・宮前区の宝を探すこと目的(宝や顔があることによるメリット、宝や顔を持つことで最終的に目指すもの)について意見交換
⇒具体的な結論には至らなかったが、次のようなキーワードが出された
共有意識・コミュニケーション・まちへの愛着・より良いまちにしていこうという意欲・目に見える宝物と見えない宝物(風土) etc...など

【配布資料】

- ・宮前区の宝さがし部会～ときめき再発見～の審議の進め方について
- ・議案ペーパー(白紙)
- ・宮前区の宝をさがす目的を確認するための議案用メモ
- ・現在の宮前区の成り立ちと開発等との関係について
- ・ホームページや雑誌等の紹介にみる「宮前区」
- ・川崎市政及び区政に関する市民1万人アンケート(抜粋)
- ・宮前区の地域資源一覧

■内外から見た宮前区のイメージ ～「宝」をさがすための1つの手がかりとして～

・現在の宮前区がどういった経緯でまちづくりが行われてきたのか、「多摩田園都市構想」の概略を共有
⇒特に宮前地区については、特定の会社の戦略のもと「良好な住宅地」という一定のイメージのまちづくりが行われてきた
・雑誌やホームページでの宮前区の紹介のされ方をみると、「住環境がよい」という評価がある反面、これといった目玉施設がないため紹介も少ないという現状
・宮前区に住んでいる人が宮前区をどのようにイメージしているかという調査では、「自然が豊か」という回答が最も多かったが、それでも麻生区や多摩区に比べれば少ない割合であった。また、「特がない」と回答した割合が7区の中で最も多かったのが特徴的(資料3-2参照)

⇒こうした宮前区のイメージ(実態と合っているかどうかは別として)も踏まえながら、今後の議論を進めていく(現在の審議段階:現状と課題の把握)

目指すべき方向性

地域みんなで共有できる宝物（顔）を通じて地域への誇りや愛着を育み、地域コミュニティの形成を図る。

全体会での意見など

- ・ときめき再発見はいい名前だ。宝が活用されないとときめかない。
- ・地域を高める。観光地として、住まいとしての価値を高める。宮前区には知られていない宝がまだまだある。
- ・新しいものを探すことも重要だが、あるものを利用して新しいものを作ることも必要。
- ・宮前区がどんなところかアピールするものがない。
- ・宮前区は緑がたくさんあって、きれいなまちのイメージである。いいまちだと多くの人が思えるようにしたい。
- ・「やってみたい」がたくさん出てくると良い。
- ・中学校区単位くらいで、地域のみんまで宝物を探してもらえるような動きにしたい。
- ・身近な地域での宝と区全体の宝の2本立てで考えられたらいいと思う。

宮前区の宝・顔に関する現状と取組

◆地域資源（宝もの）に関する現状

歴史文化・自然・活動・都市農業など多くの魅力的な資源はあるが、区民にあまり知られていない。

区内の資源を総合的にまとめたわかりやすい資料が無い。

観光協会が発足し、区内の魅力発信に向けた活動を開始した。

目に見える宝のほか、目に見えない宝として風土などがある。

◆宮前区に対する内外のイメージ

閑静で自然豊かな良好な住宅地で、教育水準も高いといわれているが、繁華街が少なく、特徴・シンボルに欠ける面がある。

区のイメージで「とくがない」の回答した区民の割合が市内7区で最も多い（H15、市民1万人アンケート）。

「宮前区ってどんなまち？」と聞かれて、答えられるものや、共通のイメージが無いのではないかと。

◆その他 宮前区をめぐる現状

宮前地区と向丘地区は、東名高速道路が概ねその境となっている。
→宮前地区は相模の国の影響が、向丘地区には武蔵の国の影響が残っている？

元々、田園都市線沿線を中心に、良好な住宅地として開発されてきた経緯がある。

メディア等の露出が多いのは、田園都市線沿線の地域が中心である。

宝や顔があるまちのイメージ

◆区民一人ひとりにとって・・・

自分の住んでいるまちについて、区外の人に紹介することができる

地域に愛着を持っている（終の棲家とする）

地域を大切に思い、近隣との良好なコミュニケーションが図れている

◆地域社会にとって・・・

地域に愛着を持つ区民が多くなることで、豊かな地域コミュニティが形成され、地域の課題も地域が主体となって解決にあたっている

解決すべき課題

区の「宝」「顔」となりうる様々な資源を区内で共有し、区外には広くPRする必要がある。

PRを効果的に行うためには、資源の特徴をよく掴む必要がある。

【課題解決策に向けた検討手法】

現状の資源の特徴を把握

課題解決策イメージ

資源を宝物に、宝物を顔に押し上げていく具体的なプロセス

宝・顔に押し上げた区の資源を内外にPRするための具体的な手法

具体的な課題解決策（議論中）

◆資源を宝物に、宝物を顔に押し上げていく具体的なプロセス（発見・共有・押し上げ）

地域のイベントの機会を活用したり様々な団体、学校などに地域の宝さがしを呼びかけ、実施してもらう

【審議を深めるにあたってのシミュレーションとして実施】

- ・2～3月に行われるイベント（まちづくり広場ラブみやまえ、ディスカバーウォーク、文化講演会、みやまえ映像コンクール）で協力してもらったり、区民会議委員が所属する団体に依頼するなどして年度内には宝を出してもらうようにする。
- ・この宝さがしでは、どのような宝が出てくるか、どのような出され方（※協力度合い）といった点も含めて検証する。

◆宝・顔に押し上げた区の資源を内外にPRするための具体的な手法

地域対抗による発見した宝のコンペ大会の実施

マスコットキャラクター、観光大使の創設・活用

宮前区の宝さがし ときめき再発見！

パート
1

地域の資源・宝もの大募集！

あなたの身近な地域の魅力や自慢、資源を教えてください！

第2期宮前区区民会議では、宮前区をアピールする資源や宝物を区民みんなで探すことを通して、コミュニティを豊かにし、宮前区の魅力を多方面に発信していきたいと考えています。

例えばこんな宝物…

自然・生き物・お祭り・道・建物・イベント・人・場所
食べ物・お店・農業・イベント・活動 などなど
あなたが良い！思うものをなんでも推薦して下さい！

ききたい！

買いたい！

食べたい！

宝さがし（パート1）の期間：平成21年2月～3月

裏面のフォームを使って、ぜひ情報をお寄せ下さい！





F A X 送信表

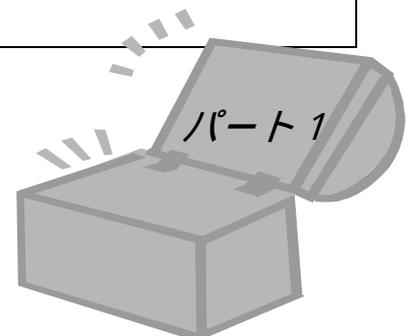
044・856 - 3119

もしくはE - m a i l : 69kikaku@city.kawasaki.jp
第2期宮前区区民会議事務局(宮前区役所企画課)

わたしが推薦する宮前区の資源・宝

推薦するもの	
推薦するものがある 場所、季節など	
推薦する理由	
推 薦 者 氏 名	性別： 男 ・ 女 年齢 歳代
連 絡 先	電話： Fax： 電子メール：
宮前区の資源や宝物に関して何かご意見がありましたらご記入ください。	

今後とも、宮前区区民会議では、地域のコミュニティを活性化させる具体的な解決策を審議していくために、区民の皆さんからたくさんの地域の資源・宝物に関する情報を募集していきます。



平成 20 年度第 4 回宮前区区民会議 次第（案）

平成 21 年 2 月 12 日(木) 18 時 00 分～20 時 30 分
宮前区役所 4 階大会議室

次 第

1 開 会

2 議 事

(1) 第 1 期宮前区区民会議からの提案に対する取組状況について

(2) 各部会の審議状況について

ア 公園・地域づくり部会

イ 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会

(3) 区民会議フォーラムについて

(4) 中間報告について

3 報 告

平成 21 年度宮前区協働推進事業予算（案）及び区の課題解決事業予算（案）について

4 その他

配布資料

資料 1 第 1 期宮前区区民会議からの提案に対する取組状況

資料 2 宮前区区民会議 公園・地域づくり部会 検討経過

資料 3 宮前区区民会議 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会 検討経過

資料 4 平成 21 年度宮前区協働推進事業予算（案）及び宮前区・区の課題解決事業予算（案）

資料 5 平成 20 年度宮前区区民会議フォーラム開催概要（案）

資料 6 第 2 期宮前区区民会議中間報告書 構成案

資料 7 第 2 期宮前区区民会議 今後のスケジュール（案）

平成 20 年度 宮前区区民会議フォーラムの開催について（案）

日時

平成 21 年 3 月 15 日(日) 13:30～16:30

目的

より多くの区民に区民会議の意義、検討内容を知ってもらう

参加した区民と共に、宮前区の公園や宝、まちづくりについて考える

（区民とともに開く**拡大区民会議**のイメージ）

- ・ によって、実際の取組を進める段階になったときの担い手を増やす。

場所

宮前区役所大会議室（全体会会場）、第 2・4 会議室（分科会会場）

内容

第1部 全体会 区民会議からの検討経過報告、事例紹介

第2部 分科会 2 部会のテーマに会場を分かれての意見交換会

第3部 全体会 分科会結果の発表、総括

分科会の開催について

- ・ 公園・地域づくり部会、宮前区の宝探し部会の両部会でそれぞれのテーマ内容に絞って、参加者と共に検討を深める分科会を開催する。
- ・ 全体会でこれまでの検討経過の概要の説明と活動事例の発表をした後、会場を移して開催する。
- ・ 参加者はその場で参加したいと思った分科会の方に参加する。

分科会進行案（全体 1 時間）

部会検討テーマに関連した投げかけを行い、ディスカッションする。（50 分）

公園：「公園でやりたいこと・公園デビューに必要なこと・理想の公園となるのに必要なこと」などを語り合う

宝さがし：地域の宝・宮前区の顔に関する「夢」を語り合う

ディスカッションの振り返り、まとめ（10 分）

コンサルタントが、ラベルで振り返りを行った上で、まとめの議論を行う。

（全体会での報告）

分科会終了後、全体会で分科会の検討結果の簡単な報告を行う。

スケジュール

時間	内容	役割分担
11:30	委員集合・会場準備 打合せ（進行確認等） 発表リハーサル等	
13:00	開場・受付	
13:30	主催者あいさつ	永野委員長
13:35	区長あいさつ	松下区長
13:40	本日の趣旨、流れ等の説明	
13:45	全体会 区民会議からの今年度の検討経緯の報告 プロジェクター等用いて簡単に各 10 分 公園・地域づくり部会 宮前区の宝探し～ときめき再発見～部会	田邊部会長 高木部会長
14:05	地域の活動事例紹介 プロジェクター等用いて簡単に各 10 分	ポレポレ 野川カルタ
14:25	分科会案内（会場案内等）	司会より
14:25	休憩・会場移動	
14:35 ～ 15:35	分科会	-----
休憩・会場移動		
15:45	全体会（分科会報告） 各 20 分（発表 10 分、質疑・意見交換 10 分） 公園・地域づくり部会 宮前区の宝探し～ときめき再発見～部会	
16:25	区長あいさつ	松下区長
16:30	閉会	

本日の検討事項

- ・ サブタイトル
- ・ 役割分担

役割	担当者	備考
全体の進行管理		
会場設営		
受付		
司会		
主催者あいさつ	永野委員長	
趣旨説明		
全体会 （検討経過の報告）	田邊部会長（公園・地域づくり部会） ----- 高木部会長（宝さがし部会）	
分科会進行	-----	
全体会 （分科会の報告）	-----	
記録	写真 ----- 録音	

第 2 期宮前区区民会議中間報告書 構成案

はじめに（あいさつ 委員長&区長）

目次

1. 第 2 期の活動の特色（2P）

明日のコミュニティ形成を目指して…… 共通大テーマの設定

提案と取り組みのつながりの強化…… 2年間をかけたテーマ検討、事例調査やモデル実施も

より区民に身近な区民会議を目指して…… 向丘地区での開催、区民会議だよりの発行など

第 1 期提案に対する取組…… 全体会議で引き続き報告・意見交換の場

2. 活動中間報告

公園・地域づくり部会（4～8P）

- ・ テーマの設定・検討内容
- ・ 開催経緯
- ・ 検討結果中間報告
 - 現状：宮前区内公園の利用・管理状況、
 - 理想とする公園像
 - 事例調査（鷲ヶ峰公園・つくしの公園遊び隊） など
- ・ 今後の方向性 解決すべき課題 今後の検討スケジュール等

宮前区の宝探し～ときめき再発見～部会（4～8P）

- ・ テーマの設定・検討内容
- ・ 開催経緯
- ・ 検討結果中間報告
 - 現状：宮前区のイメージ、地域資源の現状
 - 宝や顔があるまちのイメージ
 - 資源整理の提案 項目提案 楽しみ方提案 など
 - 資源情報収集モデル実施について（3月末までの結果を掲載）
- ・ 今後の方向性 解決すべき課題 今後の検討スケジュール等

3. 区民会議フォーラム開催報告

全体会報告（2～4P）

分科会報告（各 4～6P） 事例紹介や参加者とのディスカッションの様子の記録を掲載。

資料編

委員名簿

全体会議資料抜粋 区民会議のしくみ・委員構成・テーマ設定のための整理など

部会資料抜粋 議論整理ペーパー、公園（公園情報整理表）宝物（資源データ・資源募集チラシ）など

委員の感想・コメントなど？

